

副会長あいさつ

活力溢れる神奈川県栄養士会活動を目指して

公益社団法人 神奈川県栄養士会 副会長 山本 妙子



本年5月に初就任しました。会員歴は40年を超しましたが、ほとんどは研究教育事業部会の中での活動にとどまり、神奈川県栄養士会全体の発展の方向について積極的に考える機会は少なかったと省みているところです。図らずも事業担当を主務とする副会長の役をいただき、改めて重責を感じています。自分にできることは限られていますが、最善を尽くしたいと思います。

昨年度までの歴代の正副会長並びに理事・役員の皆様のお力で神奈川県栄養士会の組織や機能の整備、ルール作りが進められてきました。さまざまな栄養士会活動は「誰のために?」「何を目的・目標として?」実施されるのか常に問われてきたはずですが、既存の継続事業であっても基本的な考え方や仕組み、運営の仕方などを理事・役員全員が、ましてや会員全員が十分に共有することはなかなか容易ではないことがよくわかりました。今までかかわってこられた方々の貴重な実績と成果を、よりわかりやすい形で共有し、いずれ引き継ぐ方々にスムーズにバトンタッチできるようにすることが必要ではないかと考えています。

○活動内容をわかりやすく、会員の皆さんにお伝えしたい

今年度新体制のスタートとともに、理事会や委員会、事業部会活動の見直しや再整備が必要に応じて進められています。基本となる運営マニュアルの整備や活動記録の蓄積、保管なども系統的に進めたいと考えています。わかりにくさをできるだけ解消し、多くの会員に自分のやりたいことやできることを見出し、納得して活動に参加していただきたいと願います。

会員への情報共有が速やかに行えるように、あるいは県民へのアピールができるように、昨年リニューアルしたホームページの活性化を急いでいます。各事業部会・委員会からの積極的な情報提供をお願いするとともに、会員の皆様にはご利用の上で、改善のご提案、ご希望などをお寄せいただき、一緒にホームページを育てていただきたいと思っております。

○会員、特に若い仲間を増やしていきたい

昨年からご案内していますように41回の歴史を刻んだ神奈川県栄養士会の栄養改善学会は、今年度「第1回神奈川県栄養士会実践・研究大会」として再出発をします。できるだけ多くの方にご参加いただき、楽しく有意義な機会にしたいです。若手の方が先輩方から学びを得たり、多くの仲間と知り合うことができたらよいと願っています。

管理栄養士・栄養士養成に長年携わってきた立場から、養成校の学生さんへの働きかけも今まで以上に積極的に行い、より多くの新入会員を獲得したいと思います。そのためにも、まず魅力的な栄養士会であることが必要です。現在の活力、今ある魅力を最大限にアピールしたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。